

脳梗塞と心房細動 一次予防の重要性

札幌宮の沢脳神経外科病院
丹羽 潤

脳梗塞の原因は大きく3つあります。1つ目は高血圧・糖尿病・脂質異常症などの動脈硬化に起因する「アテローム血栓性脳梗塞（頸動脈や脳の比較的太い血管の動脈硬化が原因）」と「ラクナ梗塞（脳の細い動脈に起こる）」です。2つ目は心疾患、例えば非弁膜症性心房細動（NVAF）などにより心臓内にできた血栓が塞栓の原因となる「心原性脳塞栓症」です。最後に原因不明の脳梗塞があります。このうち特に重い後遺症が残りやすい脳梗塞は心原性脳塞栓症です。心原性脳塞栓症は、心房細動という病気により、心房内にできた血栓が脳血管に流れて詰まることで起こります。

心原性脳塞栓症の患者さんには、脳梗塞の再発予防のために抗凝固薬が処方されます。しかし、心房細動と診断された患者さんの中には脳梗塞発症予防（二次予防）のために抗凝固薬が投与されていない方が半数近くいます。重篤な脳梗塞の予防のためには、可能な限り抗凝固薬を服用することが大事です。NVAFの患者さんでは、脳梗塞発症の危険率を判定するスコアを使い、リスクに応じた抗凝固療法が脳卒中治療ガイドラインで推奨されています。

心房細動の国内患者は100万人以上とされますが、抗凝固療法を受けられれば脳梗塞のリスクを大幅に減らすことができます。正しい知識を得て、心房細動の早期発見や脳梗塞予防につなげてほしいです。



地下鉄東西線「宮の沢」駅 5番出口から徒歩4分



西区

■診療科目／
脳神経外科・神経内科・整形外科
糖尿病内科・リハビリテーション科

■外来診療時間／
月～金曜 9:00～12:00・13:00～17:00 土曜 9:00～12:00

24時間救急対応

脳ドックあり

明日佳グループ

札幌宮の沢脳神経外科病院

札幌市西区西町南20-1-30（旧国道5号沿い）

☎011-664-7111